

金 貞任

東京福祉大学 社会福祉学専攻 准教授

#### 介護老人福祉施設における要介護高齢者の「終末期の場」に関する研究

**研究の目的:** 要介護高齢者の介護や居場所を提供している介護老人福祉施設の終末期に場に関する状況と終末期の場に関連する要因を明らかにすることであった。**研究の方法:** 調査対象者は、介護老人福祉施設の施設長である。調査期間は 2007 年 8 月～9 月であった。2,207 カ所の施設長を対象に郵送調査を実施した結果、有効ケースは 817 票であり、それらが分析の対象となった。**分析結果:** 終末期の場は、「看取りケアの実施」と、「看取りケアの加算得点の申請」から構成されている。クロス集計の結果、「看取りケアの実施」と、「看取りケアの加算得点の申請」は、入所者に死亡者が占める比率が高い、平均要介護度認定度が高い、正規介護職員・看護職員と信頼できる介護職員が多い、見取りケアは施設の役割として認知、医療体制が整っている、入所者の死亡後の家族や職員に対してサポート体制が整っている施設のほうが積極的であった。